

# 平成29年度 甲南学園 事業計画書

## 【基本方針】

教育の重要性が切に叫ばれるなか、個性を育むことを旨とする私学教育に向けられる期待・要望も一層大きくなっている。学びの多様化・能動化に伴う成果の指標化、入学定員の厳格な管理、学校法人会計基準の改正など、外部評価に応えうる枠組みづくりとともに、教育の質の向上が強く求められている。

こうしたなか、本学は個性を尊重して天賦の特性を伸長させる「人物教育の率先」を展開している。とくに学園創立100周年へ向け、甲南教育新世紀を迎えるにあたって、世界的視野を持つ人物の養成に力を注いでいる。大学では平成24年度より入学者数の定員超過率を抑制し、少人数充実教育を実践。メディアムサイズの総合大学の利点を活かす融合的創造を図っている。また高等学校・中学校では十分な学習時間の確保とコース制の導入、グローバル性の発揮など、きめ細かな教育を謳っている。

平成29年度はその動きを加速させるべく、十分に比較・検討・熟慮の上、諸事業を展開し、資金・資産を最大限有効に活かすことに意を注ぎ、財政健全化を図りつつ予算を編成し、100周年へ向けた実りある一年とする。

- ① 学園創立100周年記念事業を力強く展開する。甲南新世紀 KONAN Higher Quality 教育の実現へむけ注力するとともに、あわせて教育施設の充実に取り組む。
- ② 平成28年度入学生からの学費改定を踏まえ、大学・高等学校・中学校が掲げる目標達成に向け予算措置を行うとともに、絶えず学園全体の立場から査定を行い、プライオリティーに基づき、貴重な財源にメリハリをつけて予算編成する。

これらの点を踏まえ、以下のとおりに予算を編成し、学園・大学・高等学校・中学校における事業を計画する。

### 1. 財政健全化のためのガイドライン

- (1) 事業活動収入に占める事業活動支出の割合は、99.0%を目安とする。
- (2) KONAN プレミア・プロジェクトは、2億円程度とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (3) 法科大学院・先端生命工学研究所に係る事業（いわゆる戦略プロジェクト）は、事業活動収入の5.5%以下とし、実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (4) 資産運用収入（受取利息・配当金収入）は、理事長および学長並びに校長より提案を受けた「21世紀に輝く学園」、すなわち、「優秀な学生への支援」、「学園の戦略広報・スポーツ強化支援」および「国際的に卓越した研究推進」等に重点配分する。
- (5) 事業活動収入にしめる経常的な事業活動支出の割合は92.0%以下を目標とする。
- (6) 100周年記念事業・行事期間に係る支出は、募金活動の活性化とも連携し、新規行事も含め意義ある行事のシリーズ化を図り、その実行に向け予算化する。
- (7) 人件費および委託業務費は、その金額および必要性・実効性を精査・査定し、その効力を高めることに努める。

### 2. 基本金

- (1) 基本金組入額は、100周年記念事業に係る投資分を除いて教育・研究充実のための施設・機器への投資および図書購入等、事業活動収入の8.0%以下を目標とする。
- (2) 100周年記念事業は、現時点の具体案を計上する。また新たな事業については、必要度など熟慮・検討していく。
- (3) 奨学助成基金に5,000万円を積み立てる。

## 【平成29年度の主な取組】

### I. 甲南学園創立100周年記念事業の企画及び推進

学園創立100周年（平成31年、2019年）を記念し、Respectable KONAN of the World（“世界で通用する甲南”）を掲げ、以下の記念事業を企画し推進する。

- 甲南新世紀 KONAN Higher Quality 教育を目指して  
圧倒的少人数 甲南 Active-Interactive 教育の実施、個性を力へ創生(成)する(individualization)  
共通教育改革の推進、融合型グローバル教育の推進、高等学校・中学校“世界に通用する紳士たれ” グローバル ハイレベル教育の実現
- 甲南学園創立100周年記念事業募金（目標額20億円）
- KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) 建設
- 甲南大学白川台キャンパス セミナー・スポーツ施設拡充（愛称「コスモスプレイス」）事業
- 甲南高等学校・中学校100周年記念 教育環境整備事業
- 100周年記念“わがくるま 星につなぐ” 甲南の星奨学金給付制度
- 学園創立100周年記念出版・展示企画  
学園100年史編集・刊行、平生鈞三郎日記翻刻完成(全18巻)、Respectable KONAN of the Worldと題し、輝かしき学園史を飾る資料の展示、学園史資料展示室のリニューアル
- その他 学園創立100周年記念式典・記念行事等

### II. 甲南大学の教育改革

人物教育率先の理念をより高いレベルで実践し、世界に通じる研究力を教育や地域連携に積極的に生かし、新たな時代においても持続的に発展できる大学となるために、平成28年度に策定した以下3つの「甲南新世紀ビジョン」実現を目指す。

- ① 圧倒的な教育力により、人物教育のクオリティ・リーダーと呼ばれる大学になる
- ② 世界に通じる特色ある研究力が教育に浸み出し、地域と連携して発展していることが社会に評価される大学になる
- ③ 融合力を発揮し、様々な環境変化に対応できる力、持続的に発展できる力を備えた大学になる

#### 1. 教学新機軸の推進

「甲南新世紀ビジョン」の実現に向け、重要な施策として位置付けた以下5つの教学新機軸を平成28年度に引き続いて推進し、本学の教育の一層の魅力化、特色化および教育の質の向上を図る。

- (1) “顔がわかる”少人数教育の推進
- (2) アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進
- (3) 共通教育改革の推進
- (4) 融合型グローバル教育推進
- (5) 地域連携・ボランティア教育の推進

#### 2. Active-Interactive キャンパスの整備、魅力化の推進

既存のキャンパス、体育施設などの各施設や新たに整備したセミナーハウス「白川台キャンパス」の活性化を図るとともに、平成29年9月竣工予定のKONAN INFINITY COMMONS (iCommons)を中心に、キャンパス全体の有機的な連携・魅力化を図り、相互啓発・融合・創発が起こるActive-Interactive キャンパスのさらなる充実化を進める。

- (1) KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) の活用

岡本キャンパスの学生福利厚生ゾーンとして再開発、平成29年9月に竣工した後、

Active-Interactive キャンパスの中核施設として活用する。また、学生部およびキャリアセンターを iCommons へ移転させ、両部局のサービスの充実・向上を図るとともに、跡地利用の検討を進める。

**(2) 白川台キャンパスの活用促進と拡充**

平成 28 年 5 月にオープンしたセミナーハウス「白川台キャンパス」の積極的な活用をはかるほか、体育施設の拡充や環境教育の場としての整備を進める。

**(3) キャンパス内の Active-Interactive 化の推進**

平成 28 年 9 月に整備した岡本キャンパス 7 号館 1 階サイエンス・ラーニングコモンズを、融合サイエンス・リベラルアーツ教育の拠点として活用するほか、岡本キャンパス内の複数動線の活性化、バリアフリー化、BYOD (Bring Your Own Device) に対応したネットワークファシリティの整備を促進する。

**3. 教育改革の基盤整備 —内部質保証システムを構築・運用—**

大学教育の質保証をより確かなものにしていくために、見直しを行った「卒業認定・学位授与の方針」(DP)、「教育課程編成・実施の方針」(CP) および「入学者受入れの方針」(AP) の 3 つのポリシーに基づく持続的な教学マネジメントの確立をはじめ、第 3 期認証評価における大学基準に対応した内部質保証システムの構築に着手し、計画的に推進する。また、平成 29 年度入学生全員を対象に、汎用的な能力や個性等を把握するためのジェネリックスキル測定を実施し、学生のキャリア創生力の涵養と教育の質保証の確立等に活用する。

**4. KONAN プレミア・プロジェクト**

全学および各学部の特色ある方針・計画を実践・可視化するとともに、これらを組織横断的に融合し、本学の新たな魅力を創出するための以下 9 つのテーマのもと、様々なプロジェクトを展開する。

- (1) KONAN つながるプロジェクト
- (2) KONAN スーパー人材育成プロジェクト
- (3) KONAN グローバル・バリアフリー プロジェクト
- (4) KONAN スポーツ元気プロジェクト
- (5) KONAN スチューデント・サポートプロジェクト
- (6) KONAN スマート・ラーニングプロジェクト
- (7) KONAN “なりたい自分” キャリアデザイン支援プロジェクト
- (8) KONAN Research & Education プロジェクト
- (9) KONAN 大学教育基盤整備プロジェクト

**Ⅲ. 戦略事業の展開**

平成 16 年度より戦略事業として展開している以下の事業を引き続き推進する。

■ 法科大学院の第 3 期プロジェクト 4 年目の展開

広く社会人にも門戸を開いた質の高い少人数教育を実施し、「昼夜開講」「秋入学」の各制度や、ICT を活用した「西宮教室」の定着をはかり、甲南ならではのビジネスに強い「甲南ローヤー」育成に努める。

また、リカレント教育発展のため、ICT の活用による国内他大学との連携を実施するほか、文部科学省によって示されている弁護士の職域拡大に向けても積極的な取組を実施する。

## ■ 先端生命工学研究所（FIBER）の第2期プロジェクト4年目の研究推進

「FIBER 第Ⅱ期計画」に基づく研究、および文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（平成26年度から5年間）に採択された研究を推進し、分子混雑状態の中での核酸の機能の動態を解明し、先制核酸医工学や創薬等に応用・活用できる成果を生むことを目指す。

また、核酸研究の国際的センターとして国内外の研究機関や大学と密に連携するほか、国際シンポジウムの開催、「神戸医療産業都市」をはじめとする地域連携、教育への還元や社会貢献活動などを進め、研究活動の促進につなげる。

## 【事業の概要】

### IV. 大学・大学院関係

#### 1. 教育

##### (1) “顔がわかる”少人数教育の推進〔教学新機軸（1）〕

大規模授業の少人数化などの授業規模最適化の推進。「学修ポートフォリオ」の活用促進。  
「KONAN サーティフィケート」制度の充実。

##### (2) アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進〔教学新機軸（2）〕

教育の質的向上をはかるため、KONAN INFINITY COMMONS（iCommons）も活用してアクティブ・ラーニングを推進。ラーニング・コモンズの充実・整備。グループワークにおけるファシリテーションやライティング・サポートの充実、学習支援に関わる学生アシスタントの育成等の支援体制整備によりアクティブ・ラーニングを特色化。

##### (3) 共通教育改革の推進〔教学新機軸（3）〕

学びの視点を増やし、柔軟な思考を育成して将来の可能性を一層広げるため、共通科目の充実を推進。初年次の共通基礎演習のさらなる進化。主に高学年を対象とする「キャリア創生共通科目」の本格始動に伴い、社会で活用できる能力の養成を実践。キャリア関連科目の一括管理と体系整備による有効かつ効率的な実施。

##### (4) 融合型グローバル教育推進〔教学新機軸（4）〕

グローバル人材の素養である①チャレンジ精神、②多文化理解力、③タフネス、④主体的行動力、⑤英語によるコミュニケーション能力を涵養し、どの学部に入學しても専門科目を学修しながら外国語や国際社会に関する理解などを身につけることのできる「融合型グローバル教育」の推進。ベルリッツ、ECCとの提携によるBE（ビジネス英語）プログラムの推進。エリアスタディーズの拡充。海外の提携大学とのダブル・ディグリー制度の検討、カナダフランス語圏の大学との協定締結。グローバルゾーン“Porte”の充実・発展。

##### (5) 地域連携・ボランティア教育の推進〔教学新機軸（5）〕

地域連携・ボランティアの拠点として整備された「地域連携センター」を中心に、学生による地域連携やボランティアの諸活動を正課・課外の教育のなかに明確に位置付けて展開。「キャリア創生共通科目」の本格始動に伴い、「実践ボランティア」等を充実。

##### (6) 教員養成体制のさらなる充実

教育職員免許法改正への対応に向けた「教育職員養成課程カリキュラム委員会」の機能活性化と全学的なカリキュラム再編、指導体制の整備。「教職実践演習」の有効化、キャリア支援の拡充。

- (7) **公認心理師養成カリキュラム等の検討**  
公認心理師法の成立・施行に伴う、公認心理師養成カリキュラム等の検討。
- (8) **FD 活動等による教育力強化と学修支援体制の充実**  
教員間の授業参観、意見交換、公開講義等の実施。少人数教育とアクティブ・ラーニングの推進。能動的学習を主体とする教育方法の充実に向けた検討。
- (9) **自己点検評価・認証評価への対応**  
平成 25 年度認証評価（適合）指摘事項への改善完了と「改善報告書」提出。第 3 期認証評価に向けた新「大学基準」に基づく課題明確化。自律的な内部質保証を継続的・安定的に行い得る組織体制の整備。
- (10) **各種補助金制度への対応強化**  
私立大学等改革総合支援事業への対応強化。本学の事業内容や計画・方針に適合する項目の确实・適切な申請・獲得。
- (11) **スポーツ推薦入学者への教育支援**  
基礎体育学演習特別クラス編成による学生生活の自己マネジメント、健康の増進に向けた指導。

## 2. 研究

- (1) **学内の各種研究助成による研究支援**  
「平生太郎基金」「伊藤忠兵衛基金」「甲南学園教育・研究基金」等の運用果実を活用した研究・出版・外国人研究者招聘等への助成。
- (2) **私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の展開**  
平成 25 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「環境応答を司る細胞ネットワークの機能発現の分子細胞メカニズムの解明」（統合ニューロバイオロジー研究所 期間：平成 25 年度から 5 年間）の研究推進 ※FIBER の同事業は先述の通り。
- (3) **研究支援の強化、コンプライアンスへの対応**
  - ・ 各種競争的研究資金の申請から管理・執行までの一元的な支援体制の強化、産官学連携コーディネーターとの連携等による研究費獲得に向けた積極的な取組の推進。
  - ・ 大型公的研究資金の獲得を目指した学内研究グループに対する研究費補助と独創的・先進的な研究の促進。全学的な本学研究力の向上およびブランディングの推進。
  - ・ 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に対応した体制の整備、コンプライアンス教育、研究倫理教育の推進
  - ・ 研究力の可視化と広報によるブランディング。
- (4) **知的財産の活用促進、管理体制の構築**  
本学教員の研究シーズ情報の積極的な発信と東京地区での展開、産官学連携に有益な各種展示会、新技術説明会等への参画出展。休眠特許の整理、休眠特許を作らない仕組みの策定。

## 3. 学生支援活動

- (1) **学生生活の支援**  
学生マナーアップの推進、学生の健康保持・増進、学生生活の改善・充実および課外活動の活性化に向けた支援、外国人留学生の支援。
- (2) **障がい学生の支援**  
「障がい学生支援ガイドライン」に基づく支援体制の確立、ピアサポーターの育成。

- (3) **キャリア形成・就職支援**  
個々の学生の状況に応じたサポートと質の高い進路支援。多様化する就職試験への対策強化。
- (4) **奨学金制度の充実**  
新たな給付制奨学金制度の検討。甲南スカラシップ倶楽部の拡充。
- (5) **保護者との関係強化**  
「教育懇談会」の改善・充実、キャリアセンター・各学部での説明会・講演会、個別学修相談等の実施。

#### 4. 社会連携・社会貢献活動

- (1) **地域連携（自治体・企業等）の推進**  
「甲南新世紀ビジョン」に基づき、兵庫県・神戸市・堺市等の各自治体と結んだ協定活用による連携活動の充実・強化。県内、中四国地域等の自治体に連携先を拡大し、新たな協定締結に向け活動を強化。神戸新聞社ほか協定締結企業や近隣諸団体との連携活動の強化。
- (2) **大学間連携の強化**  
「大学コンソーシアムひょうご神戸」の主要メンバーとしての大学間連携活動の強化。
- (3) **産官学連携の推進**  
本学の知的資産の有効活用に向けた産業界・官公庁・協定機関との連携強化。
- (4) **小学校・中学校・高等学校の児童・生徒等に向けた取組**  
独立行政法人日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」採択プログラムの実施による研究成果の還元。学内博物館実習施設「ギャラリー・パンセ」公開、図書館・サイバーライブラリの開放。甲南三法人の連携による環境教育の実践。
- (5) **教員免許更新制における免許状更新講習の支援**  
免許状更新講習の実施。教育委員会や現場教員との連携による免許状更新講習の支援。
- (6) **生涯学習支援**  
公開講座、社会人講座、各種シンポジウム、ワークショップ等の積極的な開催。

#### 5. 高大接続・学生募集・入学試験に係る活動

- (1) **高大接続の強化**  
国の推進する高大接続一体改革の動向を踏まえ、高校生と大学生が融合して行う研究発表等の高大接続プログラムの開発・実施と入学者選抜改革への積極的な取り組みによる甲南版高大接続改革の推進。「高大接続推進委員」制度による高校訪問活動等の拡充。各種高大接続活動の体系化。
- (2) **学生募集活動の強化**  
各種データの活用による戦略的な広報展開。KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) の活用などによるオープンキャンパス等各種イベントの一層の魅力化とリピーター対策。大学案内と受験生向け情報サイト『甲南 Ch.』のリニューアル。『KONAN DATA BOOK』『INFINITY NEWS LETTER』等による特色や魅力の発信力強化。
- (3) **指定校、協定校、系列校との連携強化**  
協定校・指定校等の重点校との関係強化に向けたコミュニケーション充実。各連携制度の整備。甲南高校生対象「KONAN DAY」の継続実施。

#### (4) 入試制度の充実と入試制度改革の検討

平成 29 年度入試において全学部で実施された公募制推薦入試や新たに導入された文系 2 教科型入試等の充実と安定化。文部科学省による平成 33 年度大学入試改革や「高大接続改革実行プラン」を見据えた、本学入試制度の改革に向けた検討。

### 6. 環境整備

#### (1) 教育環境の整備

アクティブ・ラーニング教室、ラーニング・コモンズ等、主体的学習を促進する教育環境の全学的な整備、キャンパス間スクールバスの運用改善。

#### (2) KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) 竣工に伴う岡本キャンパスの再整備

駐輪場整備、事務室機能の移転、構内サイン整備。

#### (3) 安心安全、省エネ型キャンパスづくりの推進

白川台キャンパスの整備（グラウンドおよび周辺施設）、全学的な照明 LED 化工事の推進。

#### (4) 情報インフラ整備の推進

スマートフォンの普及に対応する無線 LAN 環境整備（第 4 期）。学生証の全学的 IC カード化によるサービス・機能拡大。

## V. 高等学校・中学校

### 1. 教育 — 平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育の実現 —

- ・ 中 2・中 3 のフロントランナーコース生を対象とした「サイエンスラボ」「グローバルラボ」の実施。
- ・ 各界の第一線で活躍する著名人を招聘した講演会「ソフィア」による人物教育の実施。
- ・ 高一アドバンストコース生を対象とする、ビジネスリーダー育成に向けた「キャリアデザイン」の配置、OB 企業訪問等の実施。
- ・ 中 3 生を対象とする、社会で活躍する卒業生を招聘した「OB ワークショップ」の実施。
- ・ 「理科特別実験」「特色プログラム」「KONAN DAY」等、甲南大学との高大接続の強化。
- ・ 環境学習の実施による、甲南小学校・甲南女子中高・甲南大学との連携強化。

### 2. 学習活動・学校生活支援活動（進路支援活動含む）

#### — 学習環境の整備、学力向上、徳育の強化 —

- ・ 集団行動や学校生活等に順応するための中 1、高一へのオリエンテーションプログラムの実施。
- ・ e-learning による学習支援システム「レナンディ」「まな BOX」等を活用した学習の強化。
- ・ ネイティブ教員を中心とした「English Day」「English Camp」の実施。
- ・ 高一フロントランナーコース生および高二文 II・理数コース生を対象とする「学習合宿」の実施。

### 3. グローバル・スタディ・プログラム — 国際コミュニケーション力の向上 —

- ・ 高二生対象「グローバル・スタディ・プログラム」の一環としての、国際人育成に向けた海外留学実施。
- ・ 国際ビジネスや多民族・異文化を体感するシンガポールスタディツアーの実施。
- ・ 「グローバル・ファウンデーション」の一環としての、中 3 生希望者によるオーストラリア語学研修の実施。

### 4. 環境整備 — 安心・安全な教育環境の整備 —

- ・ 中学棟空調設備更新工事の実施。

- ・ 中長期修繕計画による各所修繕工事の実施。
- ・ 教室机、イスの老朽化に伴う年次更新の実施。
- ・ 小体育館バスケットゴール増設。

## 5. 生徒募集・入学試験に係る活動 —甲南の教育の魅力を校内外に伝える取組—

- ・ 教育情報誌等広告媒体の活用と学内外での入試説明会の実施。
- ・ 学校案内冊子の全面リニューアルおよび交通広告による広報の実施。

## VI. 法人

### 1. 管理運営

#### (1) 学園の資金計画等の策定

学園創立 100 周年記念事業および学園新世紀を見据えた中長期的な資金計画策定。学費改訂効果（教育面・財務面あわせて）の点検・評価。

#### (2) 教育振興のための各種寄付金の受入れ強化

高等学校・中学校「教育振興募金」の活性化、大学強化指定クラブ「スポーツ教育力強化支援寄付金制度」の周知および定着等。

#### (3) リスク管理、労務・法務管理体制の強化

契約審査、法務相談、学内規程の整備体制の強化。改正個人情報保護法の本格施行に伴う、特定個人情報を含めた個人情報保護体制の全面的見直し。大規模災害時の連絡・安否確認体制の整備に向けた検討。

#### (4) 安定的な職員組織の構築、適正な人件費配分、快適な労働環境の維持・強化

職員採用の中期計画の策定と実行。職員の職能開発と全体最適の視点に基づく配置による人件費配分の適正化、労働関連の諸法令に基づく快適な労働・職場環境の維持・強化。

#### (5) 学園情報基盤の整備

業務システムの仮想化・クラウド化、KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) 建設に伴う基幹ネットワーク構成の変更、教職員証の IC カード化による機能拡大。

### 2. 広報活動・卒業生との連携

#### (1) 学園創立 100 周年記念事業の広報

各種記念事業の積極的な広報活動による学内外の祝賀ムードの醸成。

#### (2) 広報活動の充実・ブランド強化

学生・生徒・保護者・同窓会・地域等との連携による「オール甲南」体制の構築、定期刊行物、WEB 広報ツールの充実化。

#### (3) 青少年の育成支援・地域社会への貢献を目的としたスポーツ・芸術活動への協賛

兵庫県立芸術文化センター、ヴィッセル神戸、堺ブレイザーズをはじめとする地域性の高い諸団体への支援。

#### (4) 卒業生との連携強化

入学宣誓式への卒業生招待、同窓会との各種行事の共同開催、各地甲南会等との関係強化。

以上